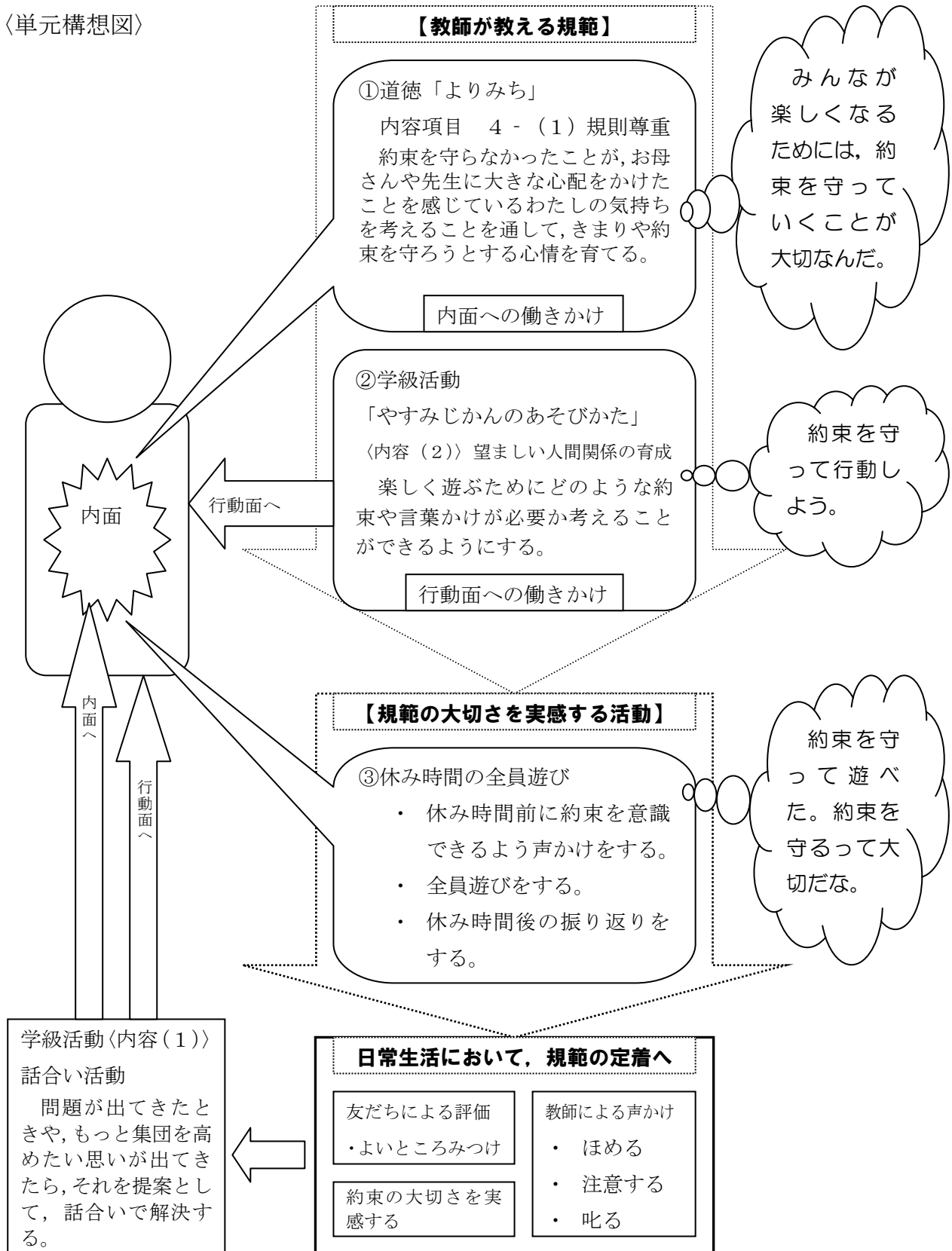


【単元構想 ー約束を守るー】

- 単元目標
- ・約束を破ることが、周りにどのような影響を及ぼすかを考え、約束を守ることの大切さを感じる。
 - ・楽しく遊ぶための約束をつくり体験の中で約束を守ることで、約束の大切さを実感する。

〈単元構想図〉



【本時の目標】 約束を守らなかったことが、お母さんや先生に大きな心配をかけたことを感じているわたしの気持ちを考えることを通して、きまりや約束を守ろうとする心情を育てる。

学習活動と主な発問	予想される子どもの思い	指導上の留意点 (○) 支援 (◆)
<p>1. 今までの経験について話</p> <p>寄り道をしてしまった、しようと思ったことがある人いますか。</p> <p>それは、どのようなときでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと話をしたかったから。 ・おもしろそうな道があったから。 ・虫を捕まえようと思ったから。 ・違う道を行くと楽しいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 約束についての学習であることを確認する。 ○ だれにでも可能性があることを感じられるようにする。
<p>2. 資料「よりみち」を読んで話し合う。</p> <p>寄り道をしているとき、わたしは、何を考えていたでしょう。</p> <p>通学路にでてかけだしたとき、わたしはどのような気持ちだったでしょう。</p> <p>お母さんの涙を見たとき、わたしはどのような気持ちになったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいな。 ・かわいいな。 ・ちょっとだけだからいいか。 ・怒られるかな。 ・ちょっとだけだと思っていたのに、遅くなってしまった。 ・お母さん怒っているかな。 ・どうしよう。 ・お母さんごめんなさい。 ・いっぱい心配させてしまった。 ・もう寄り道はしないよ。 ・これからは約束を守るよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ゆっくりと範読することで(紙芝居風に読み聞かせるのもよい。), わたしの気持ちが汲み取れるようにする。 ○ だめだとわかっているのにやってしまったたり、まあいいかと軽く考えたりしてしまう気持ちに共感できるようにする。 ○ 「しまった」というわたしの気持ちをわかるようにする。 ○ ④お母さんや先生の心配する気持ちを感じ、約束を軽く考えたり、うっかり破ったりすることが、周りの人に大きな迷惑をかけることに気づかせる。 ◆ わたしの気持ちを吹き出しに書くことで、わたしに共感し、より深く考えられるようにする。
<p>3. 約束の大切さについて話し合う。</p> <p>学校やお家でどのような約束がありますか。</p> <p>約束を守ることは、なぜ大切なのでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴ったら教室に入る。 ・やさしい言葉遣いをする。 ・帰ったら手を洗う。 ・お手伝いをする。 ・みんなが気持ちよく過ごせるから。 ・みんなに迷惑がかかるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ⑤生活の中の約束について考えることにより、授業で考えたことを自分の生活につなげるようにする。 ○ ⑥約束を守ることはよいことであるという前向きな姿勢をもたせたい。
<p>4. 約束について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 約束を守ってよかった経験や子どものころの経験を話す。

板書計画

やくそく についてかんがえよう

よりみち

楽しいな。
かわいいな。
ちよつとだけだから
いいか。
おこられるかな。

よりみちを
している挿絵

ちよつとだけと思っ
ていたのに、おそく
なつてしまった。
• おかあさんおこつて
いるかな。
• どうしよう。

つうがくろに
でて、かけたした。

私の顔の
挿絵

お母さんの
顔の挿絵

お母さんと
先生を見つ
けた私の様
子の挿絵

ワークシート例

やくそく についてかんがえよう

よりみち
よりみち
をしている
挿絵

◎おかあさんのなみだを見たとき、
わたしはどのようなきもちになつ
たでしょう。

私の顔の挿絵

お母さんの顔の
挿絵

学習モデル案① 「約束を守る」

学級活動

第2学年 1単位時間の指導計画

(2)の内容

題材	やすみじかんのあそびかた				
ねらい	・楽しく遊ぶためにどのような約束や言葉かけが必要か考えることができるようにする。				
評価規準	・クラスの友だちが困っていることを解決するために、どのような約束をつくっていけばよいか考えている。【思考・判断・実践】				
学習活動	留意点 (○) 支援 (◆)	評価の重点			評価の視点 (評価の方法)
		関	実	知	
1. めあての確認 「休み時間の過ごし方について考えましょう。」	○自分たちの生活に関わることを意識させる。				
2. 休み時間の様子について話し合う。 「休み時間は楽しく遊んでいますか。」 ・おにごっこをして楽しかった。 ・友だちと楽しくおしゃべりできた。 「休み時間にうまく遊べなくて嫌な気持ちになったり、困ったりしたことはありますか。」 ・きつい言葉を使ってしまった。 ・いつも同じ人がボールを使っていて、ボールで遊べない。 3. どうしたら楽しく過ごせるか考える。 「みんなが楽しく休み時間を過ごすためにどうしたらいいですか。」 (子どもたちから出てきた問題の解決策を考える。) (例)言葉遣いについて ボールの使い方について 集合場所などの確認	○楽しく遊んだ経験を発表することで遊び時間は楽しい時間であるという意識をもたせる。 ○出てきた問題を整理して板書する。 ・気をつけていくことで改善していく問題 (すぐには改善されないこともあることを子どもに伝える。) ・約束をつくることで解決する問題 ○たくさん出てきた場合は、みんなで学級全体に関わる問題を取り上げて、話し合うようにする。 ○問題に対応して解決策を板書する。 ○想自分たちの生活の問題に対して、解決策を考え、約束をつくっていくことで、「みんなが楽しくなるために」という約束をつくる目的を意識できるようにする。			○	みんなが楽しく過ごすためにはどのようなことに気をつけたらよいか考えている。 (発表の様子)
4. 約束を守る大切さについて、道徳の時間で学習したことを思い出す。 「やくそくを守ることはなぜ大切なのですか。」 ・みんなが楽しく過ごすため。 ・迷惑をかけないため。	◆想「約束を守る」ことの大切さを再確認することにより、約束がよりよい人間関係を築くためのものであることを意識できるようにする。				

<p>5. みんなで考えた解決策を学級の約束として確認する。 「みんなで考えた解決方法をクラスの約束にしたいと思います。わかりやすい言葉で約束をつくりましょう。」 「みんなで考えたことを守ってみんなが楽しくなるように休み時間を過ごしましょう。」</p>	<p>○禁止事項にならないように、肯定的な行動目標の形で示すようにする。 ○約束事の確認としてみんなで言葉を考える。</p> <p>◆想決まったことを掲示することで意識できるようにする。</p> <p>(事後指導)</p> <p>○休み時間に入る前に約束について確認することを継続して行うようにする。 ○決めた約束について、問題が出た場合は、決めたこととやっていることのずれがないように話し合うようにする。</p> <p>◆想約束についてどのような行動がとれているか評価することで、約束を定着できるようにする。</p>	
<p>6. 約束についての話 「みんなが楽しく過ごせるために、みんなが決めた約束を守れたらいいですね。」</p>		

板書計画

やすみじかんのすごしかた

たのしくあそべ

- おにごっこをしたのしかった。
- 友だちと楽しくおしゃべりできた。

こまったこと

- きついことばをつかってしまった。
- じゅんばんぬかしをした。

やさしいことばをつかう。

じゅんばんをまもる。

(だれかほかにつかいたい人がいたら) ボールはれんぞくでつかわない。

一人一人が気をつけること

あたらしいあそびのルール

なぜたいせつ?

- みんなにめいわくをかけないように
- みんながたのしくすごせるように

(掲示物)

一人一人が気をつけること

- ニコニコことばをつかおう
- じゅんばんをまもろう

あたらしいあそびのルール

- (ボールは) れんぞくのばあいはゆずろう

